



なごやっ子



長子配付

名護屋小学校 学校だより No.11

文責_校長 松岡 竜四郎

1月17日（金）に、5年生が、唐津市食生活改善推進協議会の指導を受けて、親子で食事作りをしました。講師は、唐津市食生活改善推進協議会鎮西支部長の酒井比富美さんと6名の食生活改善推進員の皆さんでした。献立は、トマトライス、コンソメスープ、ヨーグルトサラダと「いのちの長だご」でした。「いのち長だご」は、波戸地区の郷土料理です。鎮西町の郷土料理を知ってもらいたいという食生活改善推進員の皆さんの願いもあり、献立に組み込まれました。「炊飯器が動かない！」というトラブルもありましたが、なんとかできあがりしました。おうちの方と一緒に作った料理は、とてもおいしかったです。また、「いのち長だご」という郷土料理を作って食べることができたこともよい経験でした。

食生活改善推進員の皆さん、ありがとうございました。また、5年生の保護者の皆様もお忙しい中参加していただき、ありがとうございました。



「いのちの長だご」づくりは、初めての経験でしたが、わかりやすく教えてくださいました。

お父さん、お母さんがたの協力もあり、順調にできあがってきました。一緒に調理できて、子どもたちも嬉しそうでした。

みんなでおいしくいただきました。とてもおいしかったです。取材のカメラに向かって、子どもたちは、笑顔で答えていました。



できあがり！



卒業に向けて

6年生から「自分たちに何かできることはありますか。」と申し出があり、花の苗を植える活動を引き受けてくれました。2月13日の2時間目、空気がとても冷たい中での活動でしたが、一つ一つ丁寧に植えてくれました。

卒業式の時は、この花たちも卒業生を見送り、入学式の時は新しい1年を迎えてくれると思います。

「もうすぐ6年生も卒業するんだなあ。」と、少し寂しさを感じながら一緒に作業をしました。

寒い中、6年生のみなさん、ありがとうございました。

